

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ 設置 ~~(使用、変更)~~ 届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事 殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者

〇〇水産株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

第一工場 ▲▲課 ■■ 電話×××-×××-××××

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項 ~~(第6条第1項又は第2項、第7条)~~ の規定により、特定施設 ~~(有害物質貯蔵指定施設)~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇水産株式会社 第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年	
第5条第1項関係	特定施設の種類	3 イ 水産動物原料処理施設 3 ロ 洗浄施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☒	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
第5条第2項関係	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

設置しようとする特定施設の種類
の政令別表第1 (p.12) の番号及び名称を記入。
複数の特定施設の届出も可能です。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1号自動原魚処理施設	回転式自動洗浄施設
特定施設番号及び名称	3 イ 水産動物原料処理施設	3 ロ 洗浄施設
型 式	〇〇社製〇〇式〇型 (平成16年式)	〇〇社製〇〇 (平成元年式)
構 造	スチール製 (別添構造図参照)	木製 (別添構造図参照)
主 要 寸 法	縦 3.0m 横 2.0m 高さ 1.5m 台数 2台	縦 3.0m 横 2.0m 高さ 1.2m 台数 1台
能 力	原魚 20t/時間 (160t/日)	原魚 150t/時間 (1,200t/日)
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	主要製品：かまぼこ、冷凍すり身	

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1号自動原魚処理施設	回転式自動洗浄施設			
特定施設番号及び名称	3 イ 水産動物原料処理施設	3 ロ 洗浄施設			
設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり			
操業の系統	別紙のとおり	別紙のとおり			
使用時間間隔	連続使用	連続使用			
1日当たりの使用時間	9～12時、13～18時 8時間	同左			
使用の季節的変動	○～○月は、午後のみ稼働	○～○月は、午後のみ稼働			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	スケトウダラ 140 t ホッケ 20 t	スケトウダラ、ホッケ等 200 t			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0
	BOD [mg/L]	1,000	3,700	2,000	4,000
	SS [mg/L]	4,500	6,000	3,000	3,500
	n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	1,000	1,500	2,000	2,500
排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。					
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	15	200	30	100	
その他参考となるべき事項	内蔵等はミール工場へ売却処理		残さの処理など参考となる事項を記入してください。		

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1号処理施設		工場等で使っている番号、名称等を記入してください。		
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり		別添配置図のとおり		
設置年月日	年 月 日		法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。		
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日		
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日		
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日		
種類及び型式	活性汚泥処理施設 (ばっ気槽)		活性汚泥処理施設 (沈殿槽)		
構造	コンクリート製 (別添構造図参照)		スチール製 (別添構造図参照)		
主要寸法	〇m×〇m×〇m		〇m×〇m×〇m		
能力	300m ³ /日		3		
処理の方式	散気式ばっ気		沈殿		
処理の系統	別紙のとおり		別紙のとおり		
集水及び導水の方法	ポンプにより集水		ポンプによる送水		
使用時間間隔	連続		連続		
1日当たりの使用時間	24時間		24時間		
使用の季節変動	なし		なし		
消耗資材の1日当たりの用途別使用量			汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。 (欄内に記入できない場合は別紙を添付してください。)		
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0
	BOD [mg/L]	1,500		2,500	
	SS [mg/L]	3,000		3,500	
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]					
量(m ³ /日)	40	40	300	300	40
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法			汚泥 (50m ³ /月、脱水後 10m ³ /月) 産廃業者に処理委託		
排出水の排出方法	排出先及び排出方法等を記入してください。		処理水→No.1 排水口→側溝→〇〇川		
その他参考となるべき事項	別紙 1.2 の特定施設と処理施設の関係等を記入してください。		1号自動原魚処理施設・回転式自動洗浄施設→1号処理施設→No.1 排水口		

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙 4

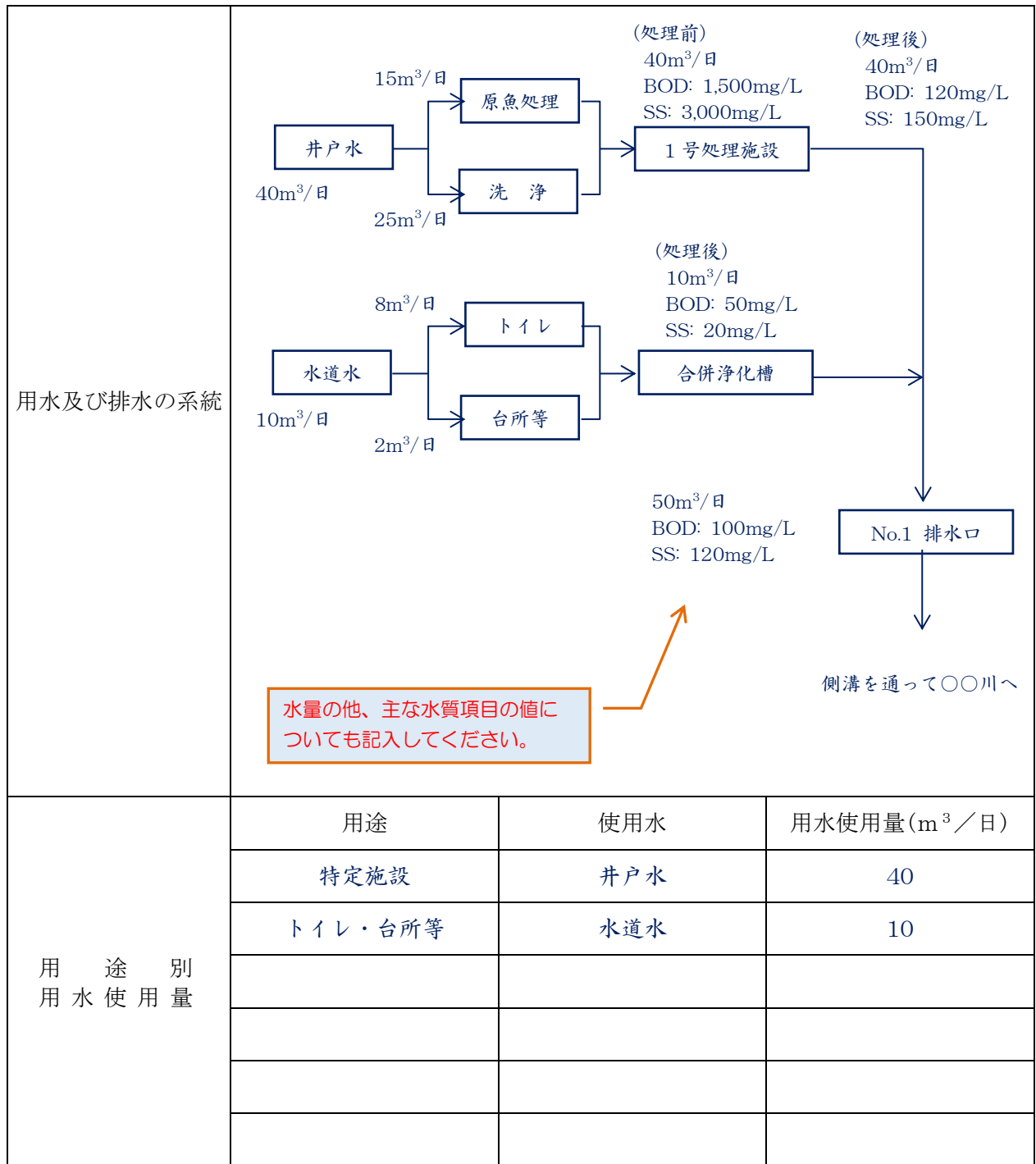
排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No.1 排水口			
排水水の汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	p H	6.0～8.0	6.0～8.0		
	B O D [mg/L]	100	150		
	S S [mg/L]	120	180		
	n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	20	25		
	大腸菌群数 [個/cm ³]	0	0		
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	10	100		
排水水の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		50	500		
その他参考となるべき事項		・ 1号自動原魚処理施設 ・ 回転式自動洗浄施設 → 1号処理施設 → No.1 排水口 → 側溝 → ○○川 し尿浄化槽排水 → 特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。 また、公共用水域への経路の概略を記載してください。			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 6

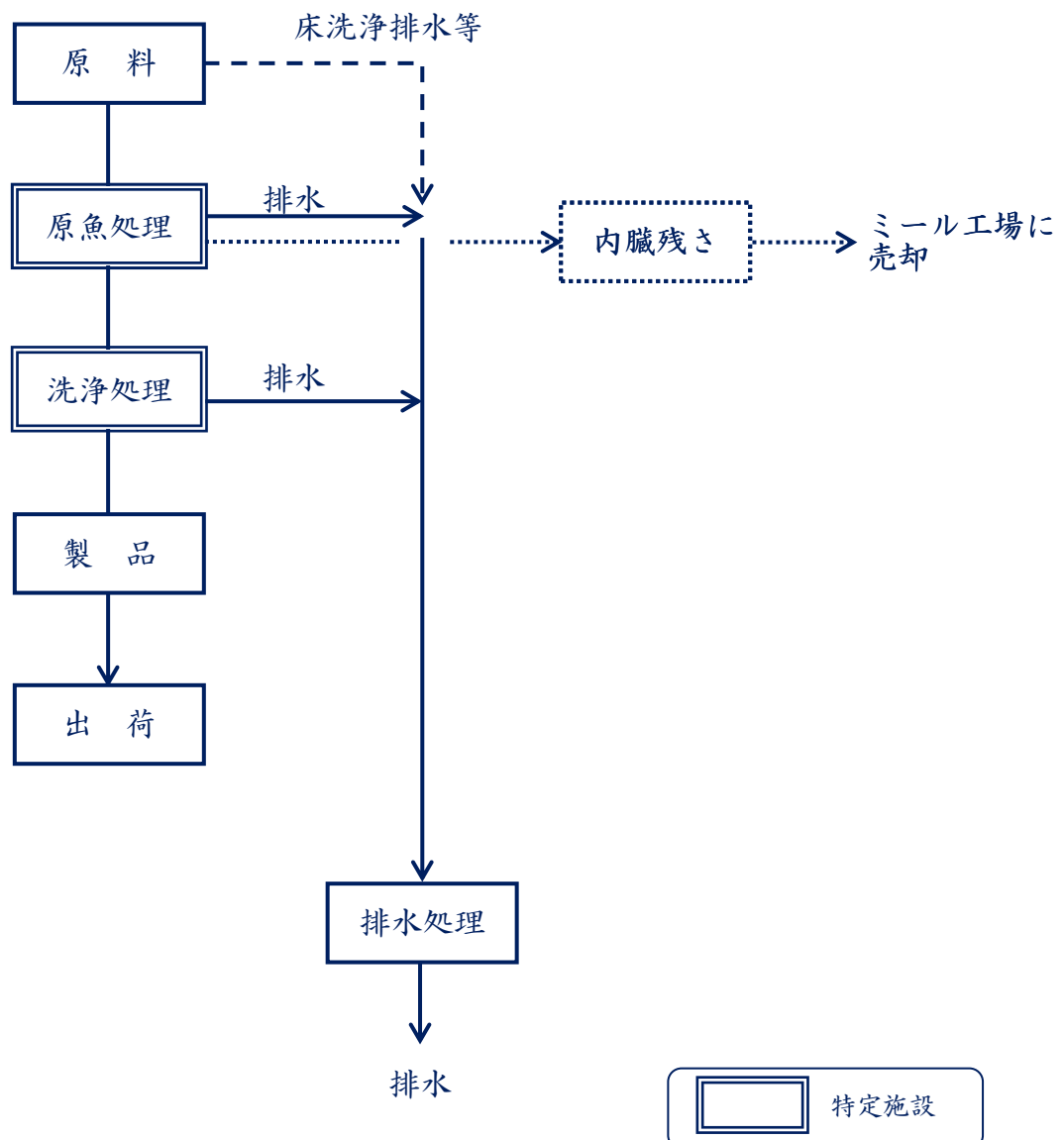
排水水に係る用水及び排水の系統



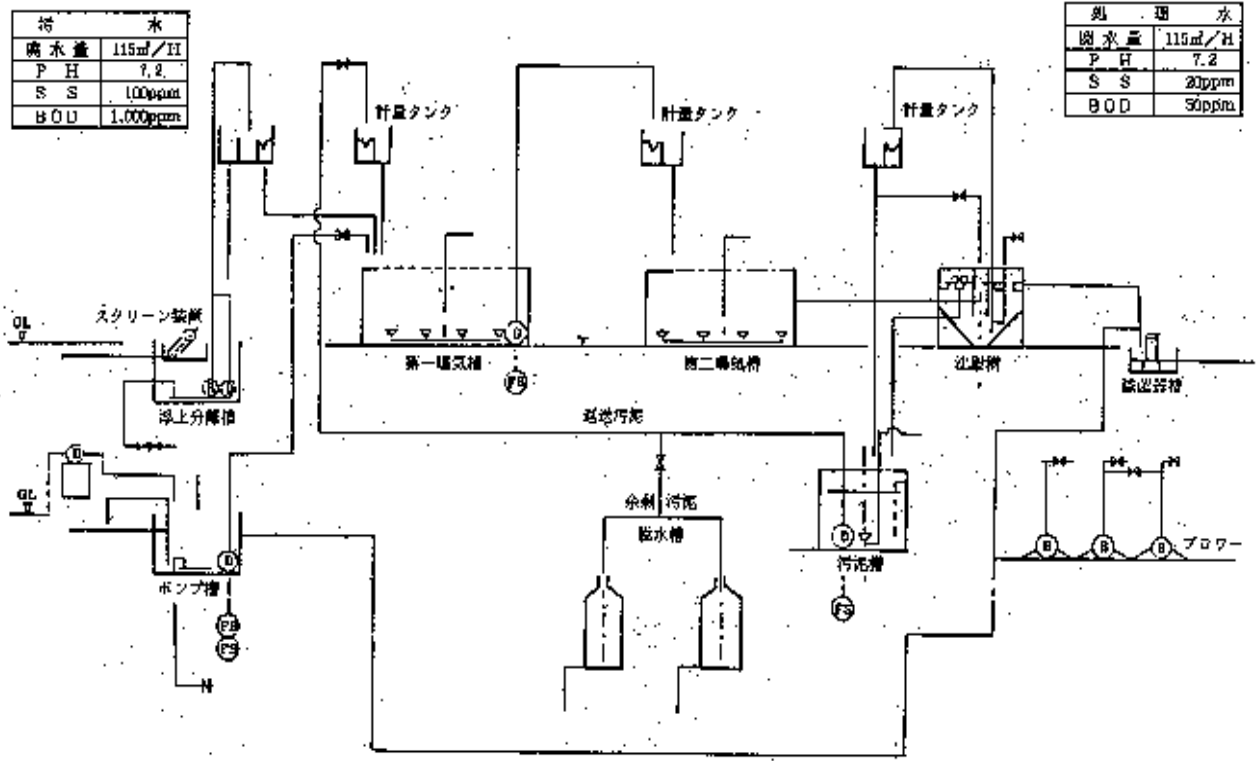
必要な添付書類

- (1) 特定施設を含む操業の系統図 記載例
 - (2) 汚水の処理系統図 記載例
 - (3) 特定施設の構造図 (寸法が記載されているもの)
 - (4) 汚水等処理施設の構造図 (寸法が記載されているもの)
 - (5) 特定事業場付近の見取図
 - (6) 事業場全体の配置図 記載例
- 〔 特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水、排水の導水経路が記載されているもの 〕

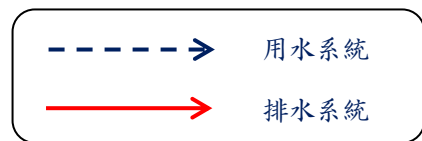
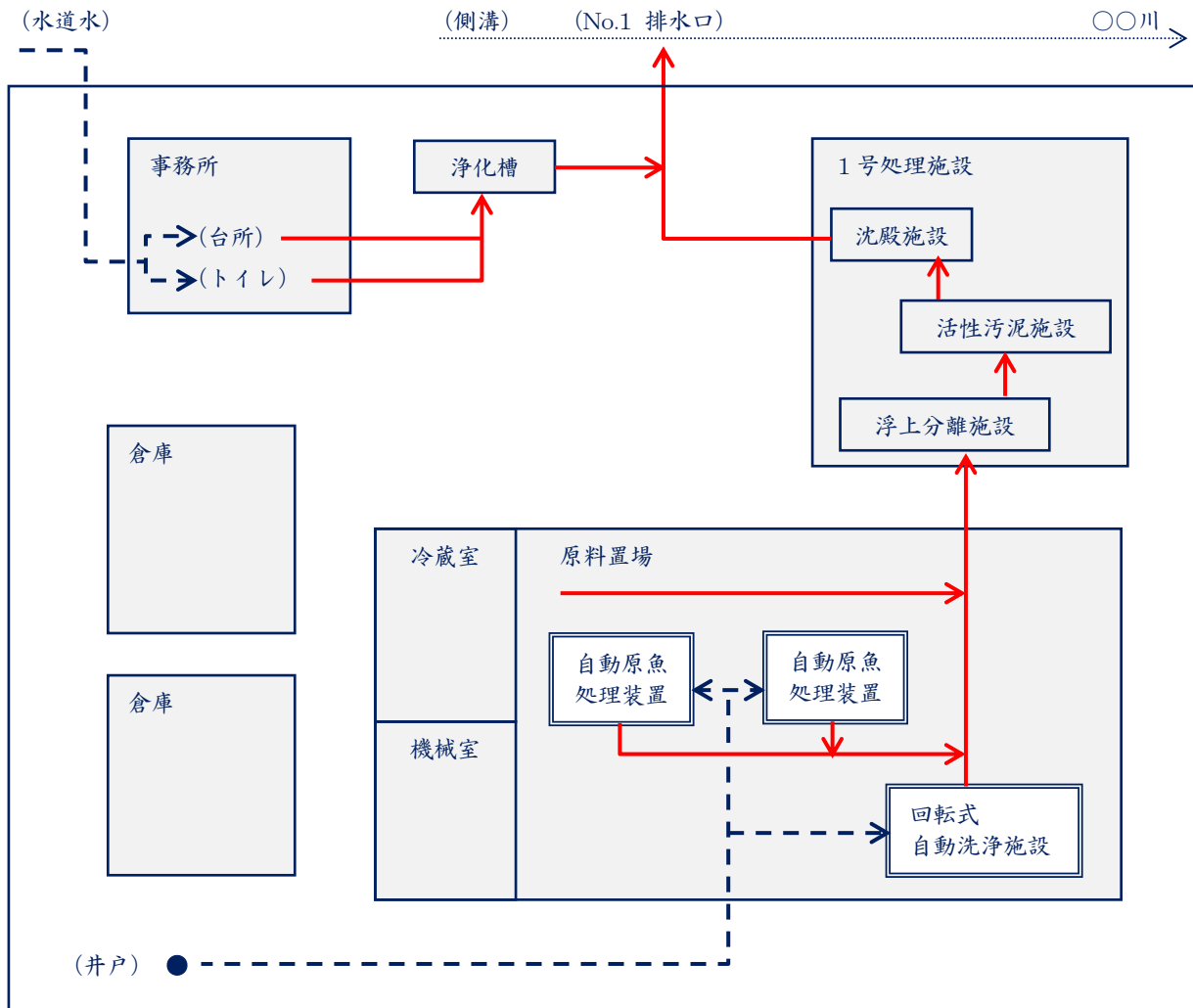
- ・ 特定施設を含む操業の系統図の例



- 汚水の処理系統図の例



- 事業場全体の配置図の例



様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

届出日を記入してください。 〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事 殿

届出の種類以外は二重線で消してください。

届出者 〇〇観光株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号	第一ホテル ▲▲課 ■■ 電話×××-×××-××××
------------	-----------------------------

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇観光 第一ホテル	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受	設置しようとする特定施設の種類の政令別表第1(p.12)の番号及び名称を記入。複数の特定施設の届出も可能です。
第5条第1項関係	特定施設の種類	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設 ロ 洗濯施設 ハ 入浴施設	※施	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☒	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備	該当するものに「レ」印を記入してください。
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類		※備	該当する事項以外は斜線で消してください。
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設	該当する事項以外は斜線で消してください。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	1～4	5	6～17
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設	66の3 旅館業 ロ 洗濯施設	66の3 ハ 入浴施設
型 式	・洗米機・・・水圧式 ・洗浄機・・・水圧式 ・食品洗浄槽・・・1槽式 ・食器洗浄槽・・・2槽式	・ランドリー機械 (〇〇社製 〇〇-〇〇)	・大浴場・・・2 ・客室内浴室・・・10
構 造	スチール製 (別添構造図参照)	スチール製 (別添構造図参照)	・コンクリート、木製 ・ユニットバス (別添構造図参照)
主 要 寸 法	別紙のとおり	縦 2.0m 横 3.0m 高さ 2.2m	大浴場 20m×15m面積 300 m ² 客室内浴室 3m×5m 面積 15 m ²
能 力	約 200 食/日	10 kg/回 (5回/日)	約 150 人/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年○月○日	○年○月○日	○年○月○日
工事完成予定年月日	○年○月○日	○年○月○日	○年○月○日
使用開始予定年月日	○年○月○日	○年○月○日	○年○月○日
その他参考となるべき事項	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。 機械等の型式、年式を記入してください。特に無ければ無記入でも可です。 特定施設の構造図を添付してください。 「事業場全体の配置図」と「特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付してください。 法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。 宿泊収容人数、入浴利用者数など、参考になるべき事項を記入してください。		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙 2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	1～4	5	6～17				
特定施設番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設	66の3 旅館業 ロ 洗濯施設	66の3 ハ 入浴施設				
設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり				
操業の系統	別添のとおり	別添の	「事業場全体の配置図」を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。				
使用時間間隔	3時間/回	5時間	22時間/日				
1日当たりの使用時間	6～9時、15～18時 6時間/日	5時間	9～11時は清掃 22時間/日				
使用の季節的変動	繁忙期(5、11、12月)には、使用時間が増加する。	無し	無し				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	・原材料 魚介類、肉類、野菜類等の食料品 ・使用方法 調理して宿泊客に提供 ・一日あたりの使用量 約500kg/日	・洗濯物50kg ・洗剤 1kg	・温泉水及び水道水を使用 ・水量 温泉水約300～320m ³ /日 水道水 約50～60m ³ /日				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8～8.6	5.8～8.6	6.5～7.5	6.0～8.0	2.4～3.0	2.2～3.0
	BOD [mg/L]	50	75	200	300	<5	<5
	SS [mg/L]	25	50	100	200	25	30
	大腸菌群数 [個/cm ³]	0	0			0	0
汚水等の汚染状態	ひ素 [mg/L]					0.05	0.08
		排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。					
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	10	15	20	25	350	380	
その他参考となるべき事項	昭和〇〇年〇月に湧出(動力汲み上げ)した温泉水を使用。						

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	18 合併処理浄化槽				工場等で使っている番号、名称等を記入してください。	
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり				法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。	
設置年月日	年 月 日					
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日					
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日					
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日					
種類及び型式	合併浄化槽 〇〇社製〇〇型					
構造	FRP製 (別添構造図参照)					
主要寸法	〇m×〇m×〇m					
能力	400人槽 (100m ³ /日)					
処理の方式	長時間ばっ気方式					
処理の系統	別紙のとおり				汚水処理の系統図を添付してください。	
集水及び導水の方法	ポンプにより圧送					
使用時間間隔	連続、通年				集水及び導水系統を「工場全体の配置図」等に明示してください。	
1日当たりの使用時間	24時間					
使用の季節変動	なし					
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	減菌用固型塩素剤 100g/日				汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。 (欄内に記入できない場合は別紙添付してください。)	
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常	最大	通常	最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前
	pH	7.8	7.2	7.8	7.2	
	BOD [mg/L]	110	20	130	25	
	SS [mg/L]	150	10	160	15	
	大腸菌群数 [個/cm ³]	>3,000	0	>3,000	0	
	アンモニア等 [mg/L]	50	30	100	80	
	量(m ³ /日)	80	80	90	90	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	余剰汚泥 (1.0m ³ /月) 業者に処理委託				排出先及び排出方法等を記入してください。	
排出水の排出方法	処理水→No.1 排水口→側溝→〇〇川					
その他参考となるべき事項	・ちゅう房施設、洗濯施設、大浴場 (洗い場)、客室内浴室→浄化槽→No.1 排水口 ・大浴場 (温泉排水) → No.2 排水口				別紙1,2の特定施設と処理施設の関係等を記入してください。	

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙 4

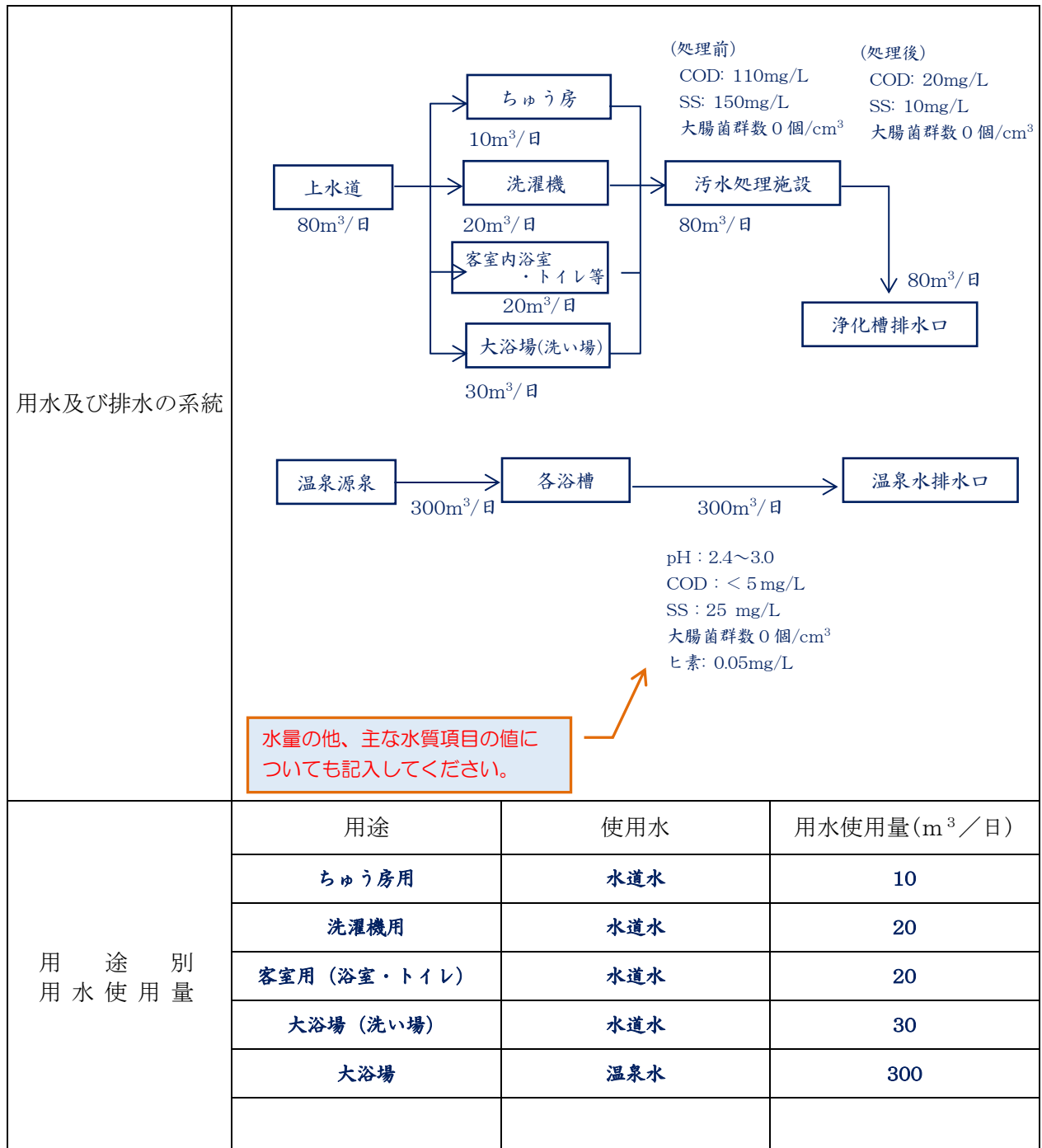
排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No.1 排水口 (浄化槽排水)		No.2 排水口 (温泉水排水)	
排水水の汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	p H	7.2	7.2	2.4～3.0	2.4～3.0
	B O D [mg/L]	20	25	<5	<5
	S S [mg/L]	10	15	25	30
	大腸菌群数 [個/cm ³]	0	0	0	0
	ひ素 [mg/L]			0.05	0.08
	アンモニア、アン モニウム化合物、 亜硝酸化合物及び 硝酸化合物[mg/L]	30	80		
排水水の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		80	90	300	320
その他参考と なるべき事項		・ No.1 排水口(浄化槽排水)は、ちゅう房排水・洗濯機排水と浴場排水を合併浄化槽で処理したもの ・ No.2 排水口(温泉水排水)は、大浴場の浴槽オーバーフロー水をそのまま排水するもの ・ ともに、側溝を通して〇〇川へ排水			
		 特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。 また、公共用水域への経路の概略を記載してください。			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙 6

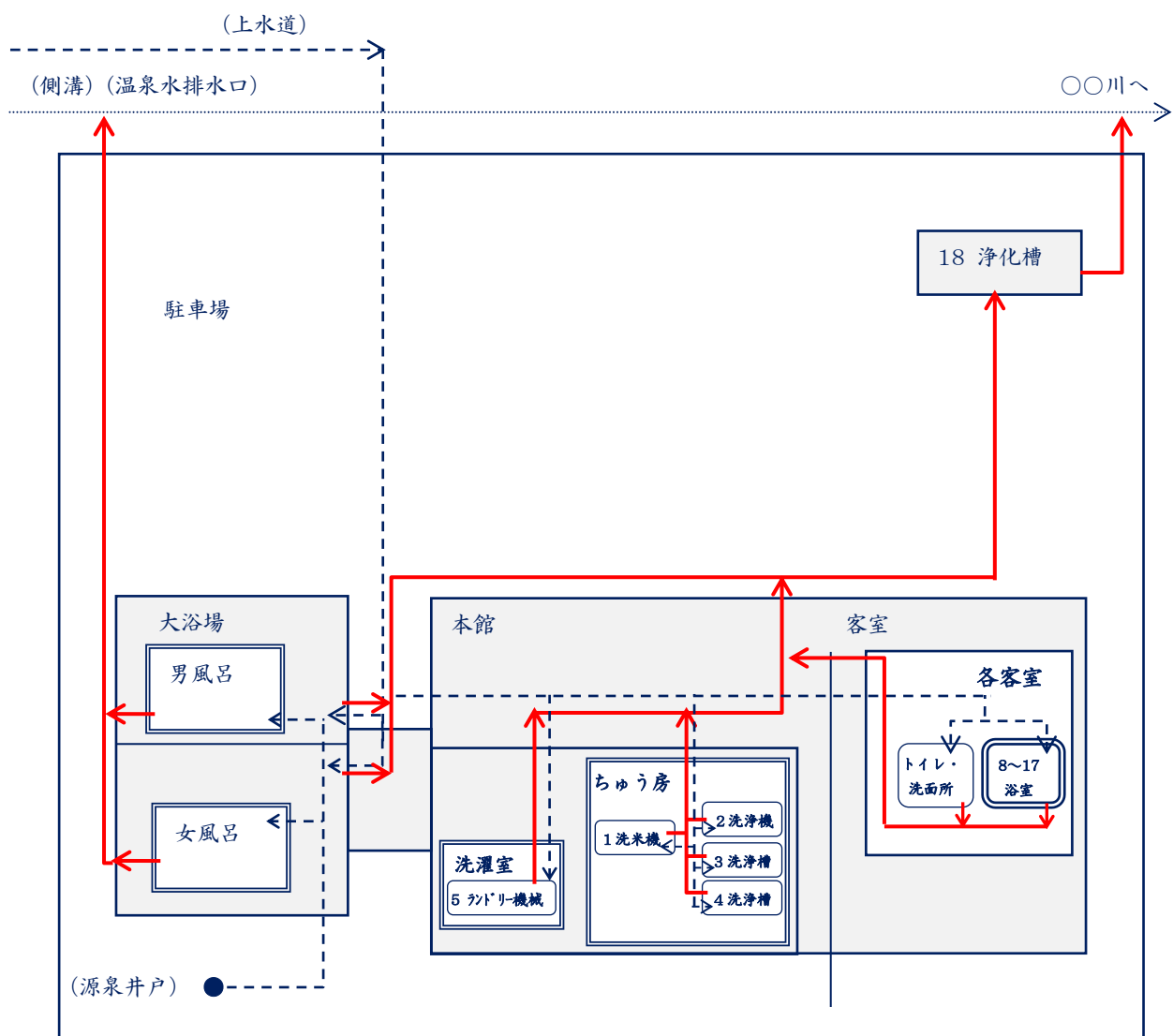
排水水に係る用水及び排水の系統



必要な添付書類

- (1) 特定施設を含む操業の系統図
 - (2) 汚水の処理系統図
 - (3) 特定施設の構造図(寸法が記載されているもの)
 - (4) 汚水等処理施設の構造図(寸法が記載されているもの)
 - (5) 特定事業場付近の見取図
 - (6) 事業場全体の配置図 ・・・記載例
- 〔 特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路が記載されているもの 〕

・ 事業場全体の配置図の例



全体配置図の他、各施設(ちゅう房、洗濯室、大浴場、客室)の図面を添付してください。

---> 用水系統
—> 排水系統

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事 殿

届出の種類以外は二重線で消してください。

届出者

〇〇〇〇牧場 北 海 太 郎

江別市〇〇町〇〇番〇〇号

(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

■■ 電話は同上

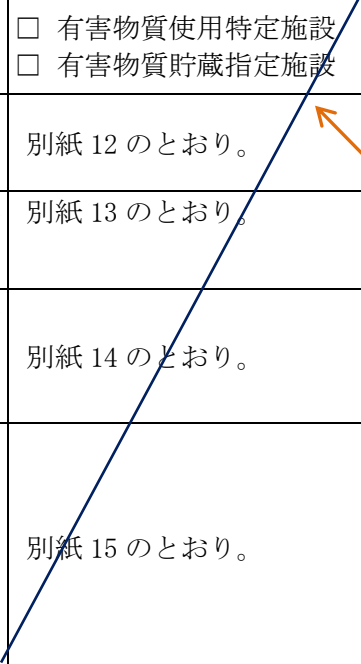
水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇〇〇牧場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		江別市〇〇町〇番〇号	※受	
第5条第1項関係	特定施設の種類の	1の2 畜産農業 イ 豚房施設 ロ 牛房施設	※施	次の下線のうち、該当するものを記載してください。 1の2 畜産農業 イ 豚房施設 (豚房総面積 50 m²以上) ロ 牛房施設 (牛房総面積 200 m²以上) ハ 馬房施設 (馬房総面積 500 m²以上) ※ 豚房・牛房・馬房とは家畜を収容する個々の房を指し、通路、飼料置場、運動場等は含まれません。
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☒	※審	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		該当する事項以外は斜線で消してください。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	肉用豚舎	乳牛舎 (A 棟、B 棟)	肉用牛舎
特定施設号番号及び名称	1 の 2 イ 豚房施設	1 の 2 ロ 牛房施設	1 の 2 ロ 牛房施設
型 式	ケージ式豚舎	スタンションストール式牛舎	フリーバーン式牛舎
構 造	木造 (別添構造図参照)	木造 (別添構造図参照)	木造 (別添構造図参照)
主 要 寸 法	縦 35m、横 10m、 高さ 3m 豚房面積 1 ケージあたり 16 m ² (4m×4m) 計 10 ケージ = 160 m ²	縦 40m、横 15m、 高さ 4m、棟数 2 棟 牛房面積 1 ストールあたり 2.4 m ² (1.5m×2m) 計 40 ストール×2 棟 =240 m ²	縦 30m、横 20m、 高さ 5m 牛房面積 1 バーンあたり 240 m ² (30m×8m) 計 2 バーン=480 m ²
能 力	収容能力 200 頭	収容能力 40 頭/棟	収容能力 200 頭
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。	
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		同型を2棟設置	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		肉用豚舎		乳牛舎 (A棟、B棟)		肉用牛舎	
特定施設号番号及び名称		1の2 イ 豚房施設		1の2 ロ 牛房施設		1の2 ロ 牛房施設	
設置場所		別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
操業の系統		別紙のとおり		別紙のとおり		別紙のとおり	
使用時間間隔		連続使用		連続使用		連続使用	
1日当たりの使用時間		24時間		24時間		24時間	
使用の季節的変動		なし		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		配合飼料 2.5kg/頭 水（飲水）5リットル/頭		配合飼料 8kg/頭 水（飲水）60リットル/頭		配合飼料 6kg/頭 水（飲水）5リットル/頭	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	事業場全体の排出水が50m ³ /日を超えていない場合は、有害物質に係る項目に関して記載してください。50m ³ /日以上の場合は、生活環境項目についても記載してください。		<100	<100	敷料に糞尿を混合している場合は「0」となります。また、乳牛においてはバルククーラー等の付帯施設の排水が排出される場合は記載してください。	
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
		0	0	3.5	4.0	0	0
その他参考となるべき事項		糞尿量 6kg/頭 糞尿はスラリー化し、液肥として草地・畑地散布。		糞 35kg/頭、尿 15kg/頭 ・糞尿は敷料とあわせて堆肥化し、牧草地へ散布。 ・堆肥舎からの浸出液はスラリー槽で貯留し、液肥として畑地へ散布。 ・畜舎排水はミルカー・バルククーラー洗浄水。		糞 15kg/頭、尿 7kg/頭 ・糞尿は敷料とあわせて堆肥化し、牧草地へ散布。 ・堆肥舎からの浸出液はスラリー槽で貯留し、液肥として畑地へ散布。	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水処理施設を有していない場合は、
次のとおり記載してください。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		汚水処理施設 無し									
処 理 施 設 の 設 置 場 所											
設 置 年 月 日		年		月		年		月		日	
工事着手予定年月日		年		月		年		月		日	
工事完成予定年月日		年		月		年		月		日	
使用開始予定年月日		年		月		年		月		日	
種類及び型式											
構 造											
主 要 寸 法											
能 力											
処 理 の 方 式											
処 理 の 系 統											
集水及び導水の方法											
使用時間間隔											
1日当たりの使用時間											
使用の季節変動											
消 耗 資 材 の 1日当たりの 用途別使用量											
汚水等の 汚染状態及び 量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大			
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後		
	量(m ³ /日)										
残さの種類、1月間の種類別 生成量及び処理方法											
排出水の排出方法											
その他参考と なるべき事項											

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		事務所 排水口			
排水水の汚染状態	種類・項目	通 常	最 大	通 常	最 大
	アンモニア、 アンモニウム 化合物、亜硝 酸化合物及び 硝酸化合物 [mg/L]	<100	<100		
排水水の量 (m^3 /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
		4	5		
その他参考と なるべき事項		・糞尿及び特定施設からの排水については、液肥化・堆肥化し、牧草地及び畑地へ散布するため、排水水は事務所雑排水及びミルカー・バルククーラー排水のみ。			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙6

排水水に係る用水及び排水の系統

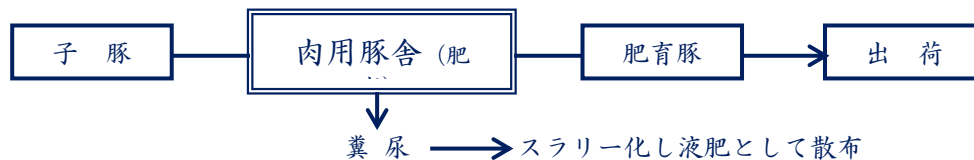
用水及び排水の系統			
	用途	使用水	用水使用量(m³／日)
用途別 用水使用量	特定施設	井戸水	18
	その他施設	井戸水	2
	事務所	水道水	0.5

必要な添付書類

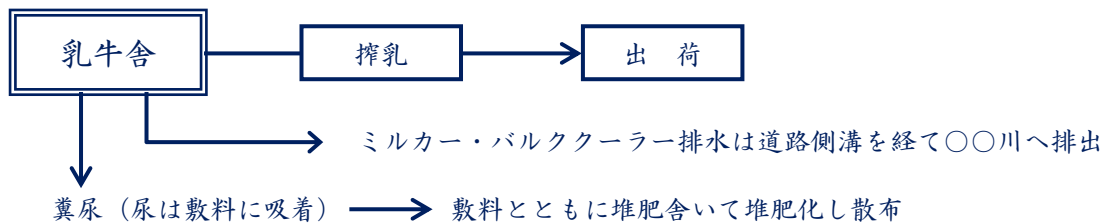
- (1) 特定施設を含む操業の系統図 ・・・記載例
 - (2) 汚水の処理系統図
 - (3) 特定施設の構造図（寸法が記載されているもの） ・・・記載例
 - (4) 汚水等処理施設の構造図（寸法が記載されているもの）
 - (5) 特定事業場付近の見取図
 - (6) 事業場全体の配置図
- 〔 特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路が記載されているもの 〕

・ 特定施設を含む操業の系統図の例

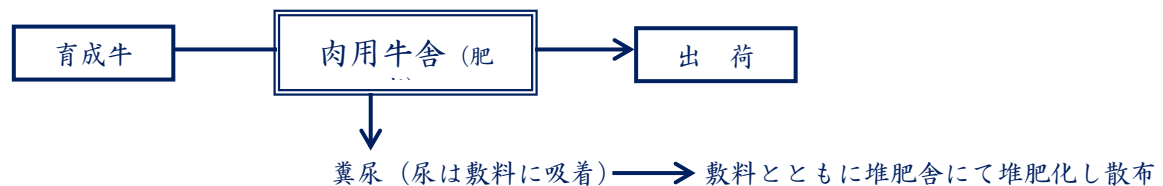
(1) 肥育豚



(2) 乳牛



(3) 肉牛

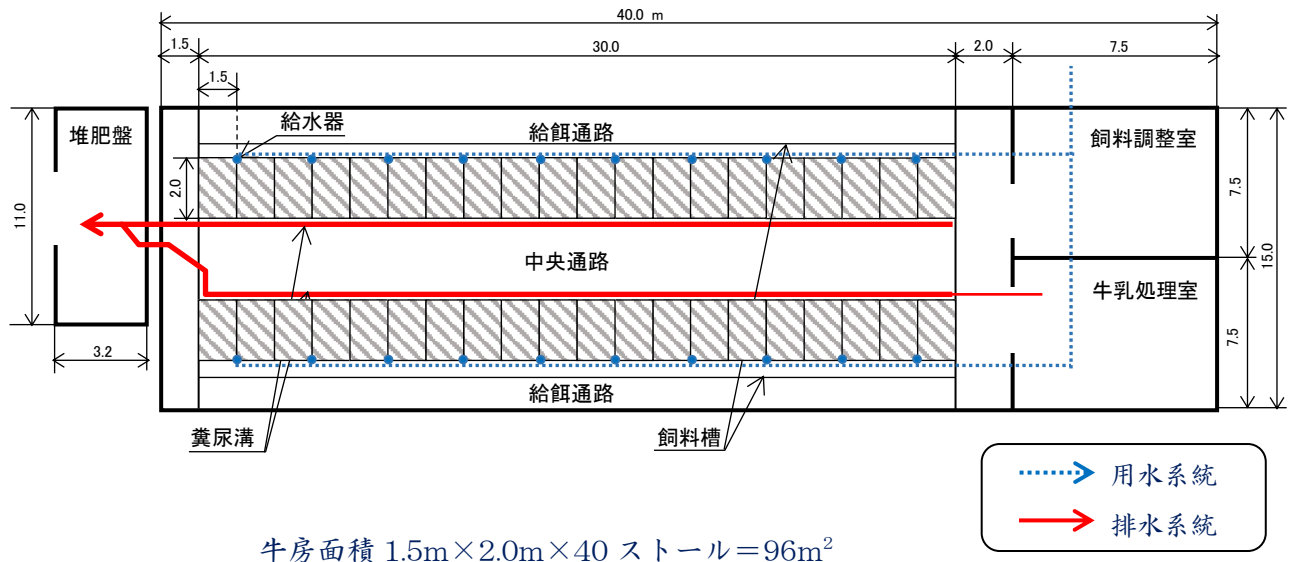


本記載例は子豚等育成家畜を購入している場合を想定していますが、自家繁殖等を行っている場合は、その生産過程を含めて記載してください。

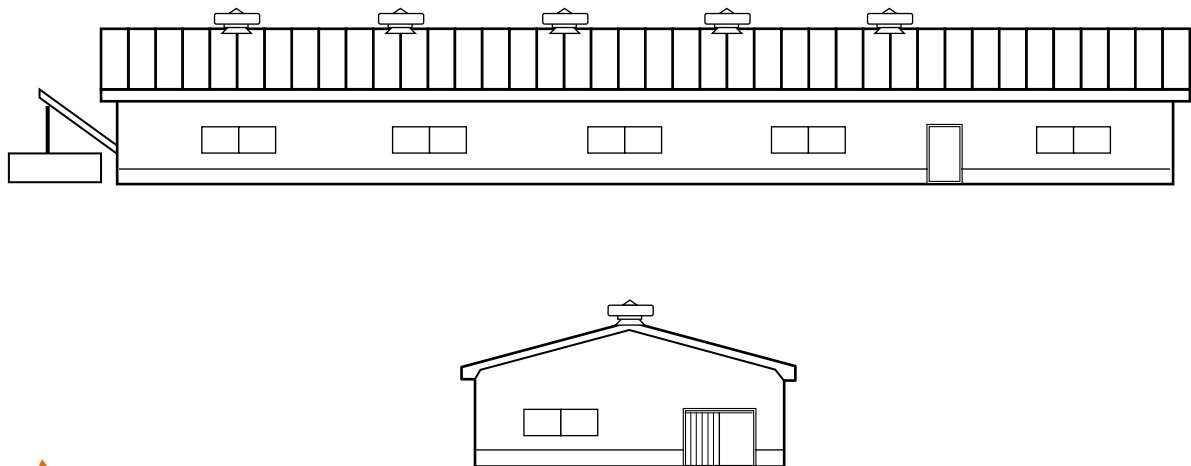
・ 特定施設の構造図の例

乳牛舎 (同型2棟)

・ 平面図



・ 立面図



- ・ 図は、すべての畜舎について1棟ずつ作成してください。
- ※ 完全に同一の畜舎については、「同型〇棟」のように記載し、省略可です。
- ※ 堆肥舎を有する場合は、参考として図面を添付してください。
- ・ 畜舎の平面図に、用排水の経路(色分け)を図示してください。
- ・ 各部の寸法を記入してください。
- ・ 畜舎内の房面積を算出し、記載してください。
- ・ 各施設の名称等を記入してください。
- ・ 立面図が無い、または作成困難な場合は、写真を添付してください。

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事 殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者

〇〇クリーニング株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

第二工場 ■■ 電話 ×××-×××-××××

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項~~(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇クリーニング(株) 第二工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年	
第5条第1項関係	特定施設の種類	6 7 洗濯業の用に供する洗浄施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☒	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類	6 7 洗濯業の用に供する洗浄施設		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

設置しようとする特定施設の種類の政令別表第1(p.12)の番号及び名称を記入。複数の特定施設の届出も可能です。

該当するものに「レ」印を記入してください。

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設	該当する事項以外は斜線で消してください。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	ランドリー機械(1、2)		工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
特定施設番号及び名称	67 洗濯業の用に供する洗浄施設		
型 式	〇〇社製 〇〇-〇〇 平成〇〇年式		機械等の型式、年式を記入する。特に無ければ無記入でも可です。
構 造	スチール製 (別添構造図参照)		特定施設の構造図を添付してください。
主 要 寸 法	縦 2.0m 横 3.8m 高さ 2.5m 2台		
能 力	10kg/回 (5回/日)		
配 置	別添配置図のとおり		「事業場全体の配置図」と「特定施設に関連する主要機械又は主要装置の配置図」を添付してください。
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日	法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日	
その他参考となるべき事項			

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		ランドリー機械(1、2)			
特定施設番号及び名称		67 洗濯業の用に供する洗浄施設			
設置場所		別添配置図のとおり		「事業場全体の配置図」を添付し、特定施設の設置場所を明示してください。	
操業の系統		別紙のとおり			
使用時間間隔		1時間おき			
1日当たりの使用時間		8～11時、12～14時 5時間			
使用の季節的変動		繁忙期(3～12月)は、 時間を延長して稼働。			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		・洗濯物(おしぼり) 50kg ・洗剤 10kg ・次亜塩素酸ソーダ 5kg			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD [mg/L] SS [mg/L]	6.0～8.0 300 200	6.0～8.0 500 250		
		排水基準の定められている有害物質及び生活環境項目のうち、当該事業場で使用するなど、関係するものについて記入してください。			
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		55	80		
その他参考となるべき事項				残さの処理など参考となる事項を記入してください。	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	活性汚泥処理施設		工場等で使っている番号、名称等を記入してください。						
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり		法第6条に基づく使用届出の場合のみ記入してください。						
設置年月日	年 月 日		年 月 日						
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日						
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日						
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇年〇〇月〇〇日						
種類及び型式	活性汚泥処理施設（ばっ気槽）		活性汚泥処理施設（沈殿槽）						
構造	コンクリート製（別添構造図参照）		スチール製（別添構造図参照）						
主要寸法	〇m×〇m×〇m		〇m×〇m×〇m						
能力	100m ³ /日		100m ³ /日						
処理の方式	散気式ばっ気		沈殿						
処理の系統	別紙のとおり		別紙 汚水処理の系統図を添付してください。						
集水及び導水の方法	ポンプによる集水		ポンプにより送水						
使用時間間隔	連続、通年		連続、通年						
1日当たりの使用時間	24時間		24時間						
使用の季節変動	なし		なし						
消耗資材の1日当たりの用途別使用量			汚水処理施設で使用する薬品等について、用途別にその種類と使用量を記入してください。（欄内に記入できない場合は別紙添付してください。）						
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0	6.0～8.0
	BOD [mg/L]	300		500		100		150	
	SS [mg/L]	200		250		120		180	
量(m ³ /日)	55	55	80	80	55	55	80	80	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	排出先及び排出方法等を記入してください。		汚泥（50m ³ /月、脱水後10m ³ /月） 産廃業者に処理委託						
排出水の排出方法	別紙1,2の特定施設と処理施設の関係等を記入してください		処理水→総合排水口→側溝→〇〇川						
その他参考となるべき事項			ランドリー機械 → 総合排水口						

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4

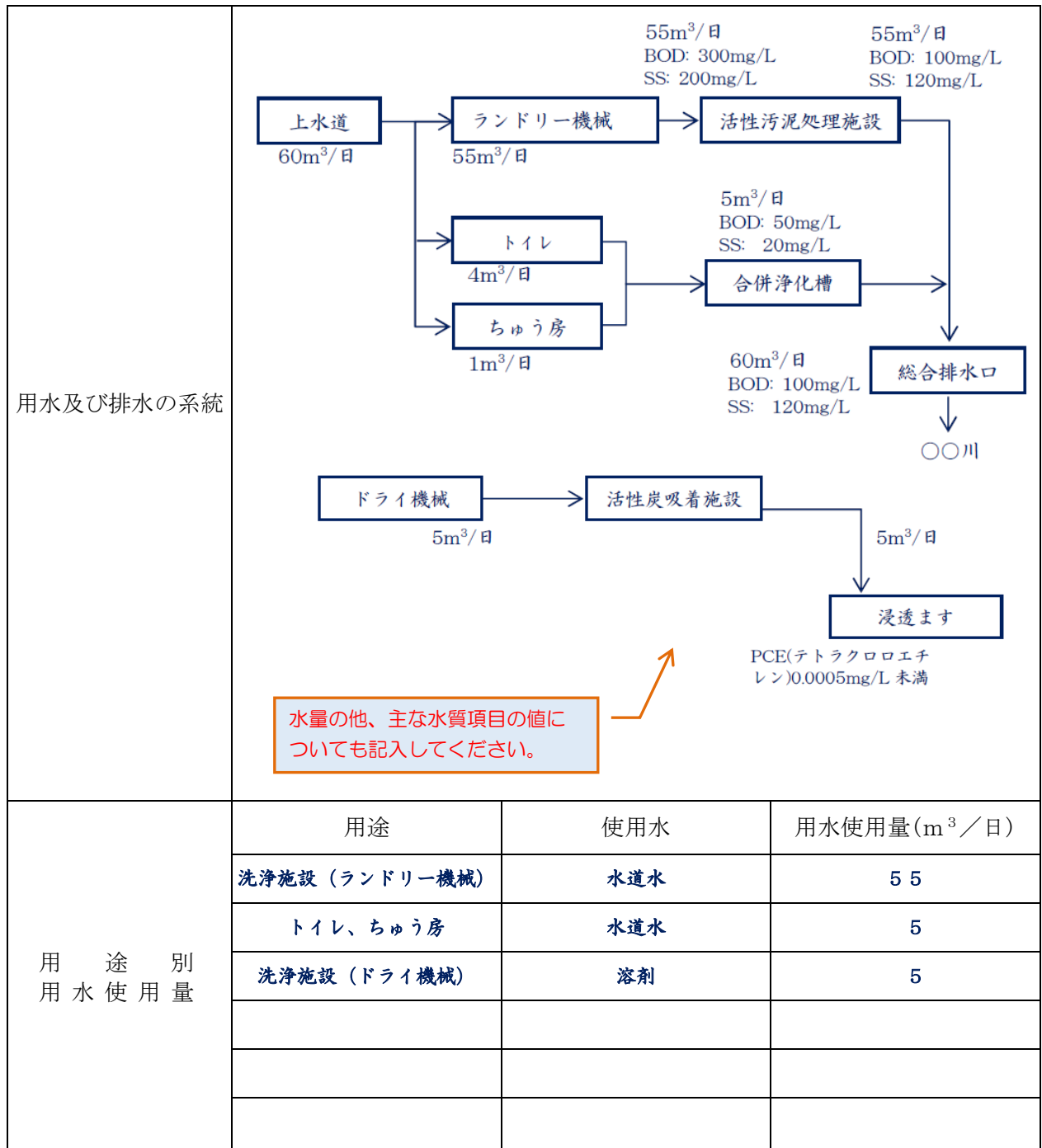
排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		総合排水口			
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.0 ~ 8.0	6.0 ~ 8.0		
	BOD [mg/L]	100	150		
	SS [mg/L]	120	180		
	大腸菌群数 [個/cm ³]	0	0		
	アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物 [mg/L]	5	100		
	テトラクロエチレン [mg/L]	<0.0005	0.0005		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		60	85		
その他参考となるべき事項		ランドリー機械 → 総合排水口 → 側溝 → ○○川 し尿浄化槽排水 → 特定施設、排水処理施設との関係を明示してください。 また、公共用水域への経路の概略を記載してください。			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙6

用水及び排水の系統



別紙7

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械(1、2)	
特定施設号番号及び名称	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	
型 式	〇〇社製 〇〇-〇〇	
構 造	スチール製 (別紙構造図参照)	
主 要 寸 法	縦 2.0m 横 3.0m 高さ 2.2m 2台	
能 力	洗濯物 10kg/回	
配 置	別添配置図のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙8

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		ドライクリーニング機械(1、2)			
特定施設号番号及び名称		67 洗濯業の用に供する洗浄施設			
設置場所		別添配置図のとおり			
操業の系統		別紙のとおり			
使用時間間隔		1時間おき			
1日当たりの使用時間		8～12時、13～16時 計7時間			
使用の季節的変動		繁忙期(4～5月、9～10月)は、時間を延長して稼働。			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		・対象物 衣類、作業服 ・溶剤 パークロロエレン(テトラクロロエレン) 3kg/日			
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
	PCE (テトラクロロエレン) [mg/L]	100	120		
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		5	6		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

別紙9

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	活性炭吸着処理施設								
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり								
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日				
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日				
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日				
種類及び型式	活性炭吸着処理施設（水分離器）				活性炭吸着処理施設（吸着装置）				
構造	スチール製（別添構造図参照）				スチール製（別添構造図参照）				
主要寸法	〇mφ × 〇m				〇mφ × 〇m				
能力	10m ³ /日				10m ³ /日				
処理の方式	沈降分離				吸着				
処理の系統	別紙のとおり				別紙のとおり				
集水及び導水の方法	ポンプによる集水				ポンプにより送水				
使用時間間隔	連続				連続				
1日当たりの使用時間	8～12時、13～16時 計7時間				8～12時、13～16時 計7時間				
使用の季節変動	繁忙期（4～5月、9～10月）は、 時間を延長して稼働。				繁忙期（4～5月、9～10月）は、 時間を延長して稼働。				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量					活性炭 〇 kg/月 （毎月交換）				
汚水等の汚染状態及び量	種類	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	PCE （テトラクロエレン）	100	50	120	60	50	<0.0005	60	<0.0005
	量（m ³ /日）	5	5	6	6	5	5	6	6
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法					活性炭 〇kg/月 処理業者に委託				
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

別紙 10

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置		別添配置図のとおり							
浸透施設の数		1カ所							
浸透水	工場又は事業場における施設番号	1号浸透ます							
	量(m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		5	6						
その他参考となるべき事項									

別紙11

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

用水及び排水の系統	別紙6のとおり		
用 途 別 用 水 使 用 量	用 途	使 用 水	用水使用量(m³/日)
	洗浄施設(ドライ施設)	溶剤	5

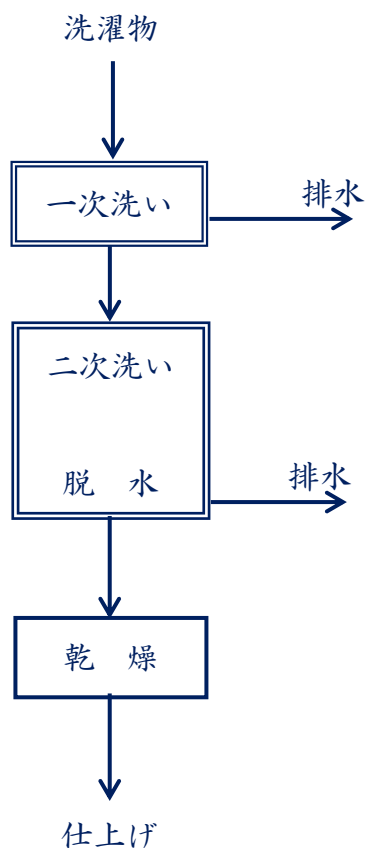
必要な添付書類

- (1) 特定施設を含む操業の系統図 ・・・記載例
- (2) 汚水の処理系統図
- (3) 特定施設の構造図(寸法が記載されているもの)
- (4) 汚水等処理施設の構造図(寸法が記載されているもの)
- (5) 特定事業場付近の見取図
- (6) 事業場全体の配置図 ・・・記載例

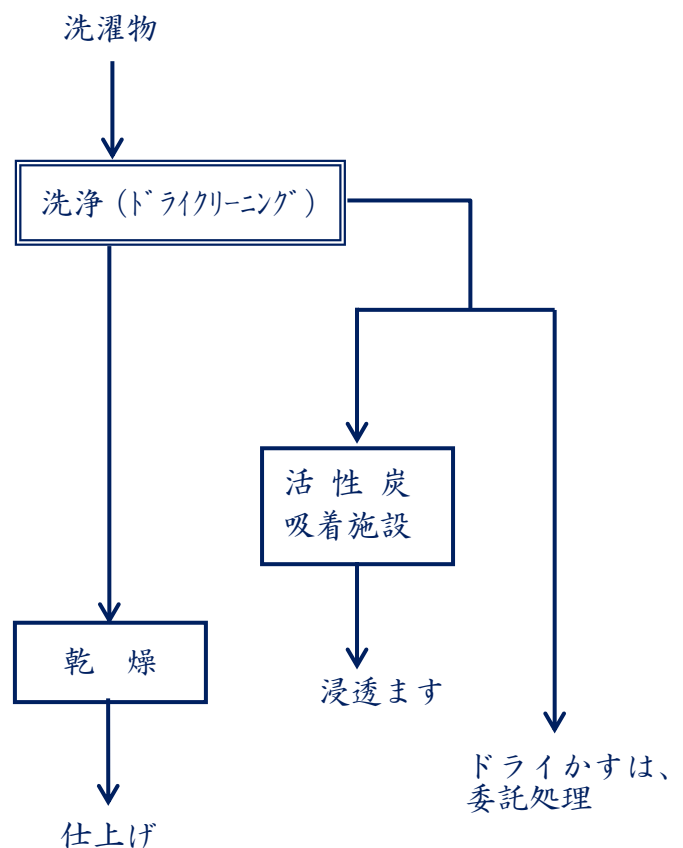
特定施設の設置場所、特定施設に関連する主要機械または主要装置の設置場所
汚水処理施設の設置場所、排水口の位置、汚水・排水の導水経路
特定地下浸透水の浸透施設の位置及び浸透場所の位置が記載されているもの

・ 特定施設を含む操業の系統図の例

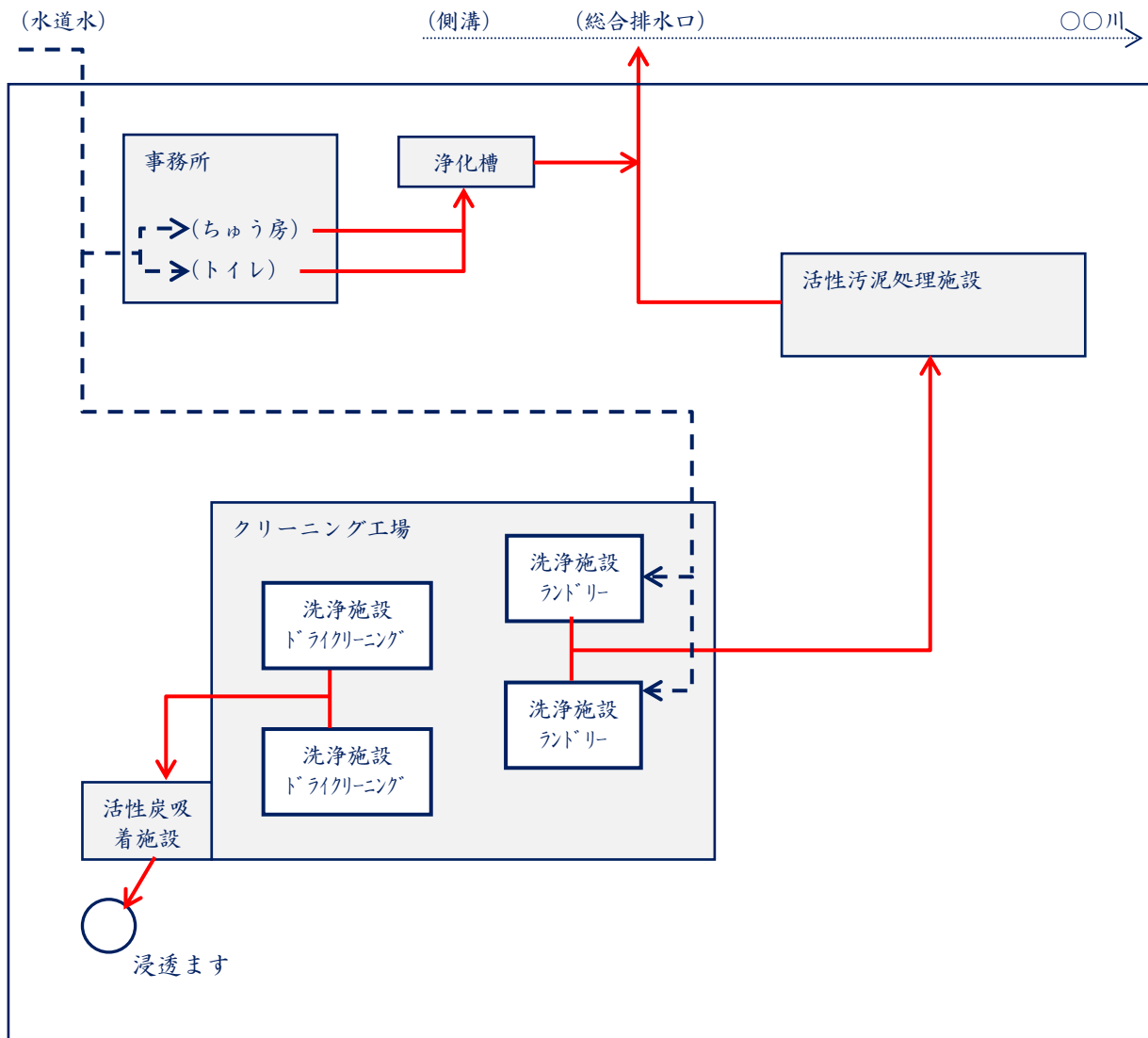
・ ランドリー



・ ドライクリーニング



・ 事業場全体の配置図の例



様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

本記載例は、下水道へ排出している既設事業場が、法改正により新たに第5条第3項の有害物質使用特定施設となったケースを想定し、第6条第1項による使用届出としています。

〇〇クリーニング株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
届出者 石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

第二工場 ■■ 電話は同上

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇クリーニング(株) 第二工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☐	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☒ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	該当するものに「レ」印を記入してください。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあっては、名称)を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 12

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (67 洗濯業の用に供する洗浄施設)	有害物質使用特定施設の場合は、政令別表第1(p.11)の特定施設の番号及び名称を記入してください。
型 式	〇〇社製 〇〇-〇〇	
構 造	スチール製 (別紙構造図参照)	構造図を添付してください。
主 要 寸 法	縦 2.0m 横 3.0m 高さ 2.2m 1台	
能 力	洗濯物 10kg/回	
配 置	工場棟1階 (別添配置図参照)	地下に設置されている場合は、その旨記載してください。
		配置図を添付してください。
床面及び周囲	床面:コンクリート(厚さ100mm)及び樹脂コーティング 周囲:コンクリート(厚さ100mm)側溝(貯留量8m³)	防液堤等について、その容量を記入してください。
設 置 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (67 洗濯業の用に供する洗浄施設)	
設 備	バルブ類 2ヶ ためます 1ヶ	施設に付帯する配管、バルブ類、ポンプ設備、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。
構 造	バルブ類：地上配管、ステンレス製 ためます：コンクリート製(厚さ 50mm) (別添構造図参照)	設備の構造、材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載してください。
主 要 寸 法	バルブ類：径 20mm×150mm ためます：50cm×50cm×50cm (別添構造図参照)	設備のうち、主なものについて寸法を記載してください。
配 置	工場棟 1階 (別添配置図参照)	建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記してください。
設 置 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		有害物質を含む水が流れ出ない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、当欄にその旨記載してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	ドライクリーニング機械	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (67 洗濯業の用に供する洗浄施設)	
設置場所	工場棟1階(別添配置図参照)	
操業の系統	ドライクリーニングを行う	
使用時間間隔	8～12時、13～16時	
1日当たりの使用時間	計7時間	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	・対象物 衣類、作業服 ・溶剤 パークロロエチレン(テトラクロロエチレン) 3リットル/日	
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)		
その他参考となるべき事項	使用溶液は蒸留器にて回収還元し、減少分を補充する。 蒸留スラッジは、産業廃棄物として委託処理する	

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	<pre> graph TD A[パーク液 3L/日] --> C[ドライクリーニング機械
(有害物質使用特定施設)] B[上水道 60m³/日] --> C B --> D[ランドリー機械
(水洗) 55m³/日] C --> E[蒸留スラッジ] C --> F[下水道へ排出] E -.-> G[産業廃棄物として
委託処理] D --> H[下水道へ排出 55m³/日] </pre>		
用途別用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量 (m³/日)
	ドライクリーニング機械	溶 剤	0 . 0 0 3
	ランドリー機械	水道水	5 5

必要な添付書類について

- (1) 特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図
- (2) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等
- (3) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
(寸法の記載があるもの)
- (4) 有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
(有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。)
- (5) 有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図
- (6) 漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図
- (7) 特定事業場付近の見取図

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

届出日を記入してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

本記載例は、下水道へ排出している既設事業場が、法改正により新たに第5条第3項の有害物質使用特定施設となったケースを想定し、第6条第1項による使用届出としています。

届出者

〇〇写真 株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

〇〇店 ■■ 電話は同上

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇写真(株) 〇〇店	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☐	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☒ 有害物質使用特定施設 ☐ 有害物質貯蔵指定施設	該当するものに「レ」印を記入してください。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあっては、名称)を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 12

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	自動現像機1	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (68 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設)	有害物質使用特定施設の場合は、政令別表第1(p.11)の特定施設の番号及び名称を記入してください。
型 式	〇〇社製 〇〇-〇〇 (無水洗式)	
構 造	ステンレスフレーム及び合成樹脂製タンク付帯 (別紙仕様参照)	
主 要 寸 法	縦 1.0m 横 1.2m 高さ 1.5m 1台	
能 力	フィルム現像 20本/時間	
配 置	1階作業場 (別添配置図参照)	施設の配置がわかる図面を添付してください。
床面及び周囲	床面:コンクリート及び塩ビシート 現像機周囲に受け皿を設置 (立ち上がり150mm、容量0.2m ³)	側溝、防液堤等について、その容量を記入してください。
設 置 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備

工場又は事業場における施設番号	自動現像機1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (68 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設)	
設 備	無し	施設に付帯する配管、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。
構 造	無し	設備の構造、材質を記載してください。また、検知設備を有する場合は記載してください。
主 要 寸 法	無し	
配 置	無し	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	使用薬品は現像機内のカートリッジにより回収されるため、有害物質を含む水は排出されない。	

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	自動現像機1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質使用特定施設 (68 写真現像業の用に供する自動式フィルム現像洗浄施設)	
設置場所	1階作業場(別添配置図参照)	
操業の系統	現像処理 (別紙操業系統図参照)	
使用時間間隔	10～12時、13～16時	
1日当たりの使用時間	計5時間	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	①発色現像液・・・0.6 L/日 ②漂白液・・・0.2 L/日 ③定着液・・・0.2 L/日 ④安定液・・・1.0 L/日	
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)		
その他参考となるべき事項	・ ①～④溶解水としてホウ素化合物、②・③アンモニア化合物 ・ 廃液回収量 2.0 L/日	

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）			
用途別用水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量 (m³/日)

必要な添付書類

- (1) 特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図
- (2) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等
- (3) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
(寸法の記載があるもの)
- (4) 有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
(有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。)
- (5) 有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図
- (6) 漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図
- (7) 特定事業場付近の見取図

様式第1 (第3条関係) (表面)

~~特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書~~

届出日を記入してください。
〇〇年〇〇月〇〇日

北海道知事 殿

届出の種類以外は
二重線で消してください。

届出者 〇〇化学株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

担当者名及び電話番号

第二工場 ■■■ 電話×××-×××-××××

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇化学(株) 第二工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		石狩市〇〇町〇番〇号	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類		※施 設 番 号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 ☐ 無 ☐	※審 査 結 果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

該当する事項以外は斜線で消してください。

様式第 1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	☐ 有害物質使用特定施設 ☒ 有害物質貯蔵指定施設	該当するものに「レ」印を記入してください。
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙 12 のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙 13 のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙 14 のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙 15 のとおり。	

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあっては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙 1 の 2 を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙 12

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号	A-1	工場等で使っている番号、名称等を記入してください。
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
型 式	貯蔵タンク 〇〇社製 〇〇-〇〇	
構 造	ステンレス製 (別紙構造図参照)	構造図を添付してください。
主 要 寸 法	直径 1500mm 高さ 6000mm 2基	
能 力	貯蔵量 各1000 リットル	地下に設置されている場合は、その旨記載してください。
配 置	化学工場の屋外に設置 (別添配置図参照)	配置図を添付してください。
床面及び周囲	床面：コンクリート（厚さ100mm） 及びエポキシ樹脂で被服 周囲：防液堤を設け、流出を防止（貯留量 m ³ ）	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項		使用届の場合は、設置した年月日を記載してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙 13

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号	A-1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設 備	地上配管、バルブ、フランジ	施設に付帯する配管、バルブ類、ポンプ設備、排水溝、ためます等の設備名を記載してください。
構 造	ステンレス製	設備の構造、材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載してください。
主 要 寸 法	地上配管 直径 200mm×50m バルブ 2カ所 フランジ 3カ所	設備のうち、主なものについて寸法を記載してください。
配 置	化学工場の屋外タンクから 化学工場内1階まで (別添配置図参照)	建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記してください。
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	使用届（法施行時に既設置）の場合は、設置した年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	
その他参考となるべき事項		有害物質を含む水が流れ出ない場合には、構造等に関する基準が適用されないので、当欄にその旨記載してください。

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

別紙 14

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	A-1	
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	有害物質貯蔵指定施設	
設置場所	化学工場の屋外から化学工場1階 (別添配置図参照)	
操業の系統	〇〇反応施設にベンゼンを供給	
使用時間間隔	1週間に1回	
1日当たりの使用時間	1時間/回	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	ベンゼン（〇〇%）	
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

別紙 15

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

施設において製造され、使用され若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）	搬入：タンクローリーから供給 1週間に1回、1時間 搬出：配管をとおり、特定施設である〇〇施設に供給する 連続供給、1日1000リットル ※ 必要に応じて搬入及び搬出の系統がわかる 図面を添付してください。					
	有害物質貯蔵指定施設の場合は記載不要です。					
用途別用水使用量	用	途	使	用	水	用水使用量（m ³ ／日）

必要な添付書類

- (1) 特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場の建物及び有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所を示した配置図
- (2) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の設置場所、床材の範囲、配管系統図、配管の部分詳細図等
- (3) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造図
(寸法の記載があるもの)
- (4) 有害物質使用特定施設に係る用水及び排水の系統図
(有害物質が流れない雨水、生活排水等の系統については記載不要。)
- (5) 有害物質貯蔵指定施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統図
- (6) 漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図
- (7) 特定事業場付近の見取図

様式第5（第7条関係）

氏 名 等 変 更 届 出 書

届出日を記入してください。

年 月 日

北海道知事 殿

変更後の氏名、名称、住所を
記入してください。

届出者

〇〇株式会社
代表取締役 北 海 道 子
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

該当事項以外は
二重線で消してください。

氏名~~（名称、住所、所在地）~~に変更があったので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の 内容	変更前	北 海 太 郎	※整 理 番 号	
	変更後	北 海 道 子	※受理年月日	年 月 日
変 更 年 月 日		〇〇年〇〇月〇〇日	※施 設 番 号	
変 更 の 理 由		代表者交代のため	※備 考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
- 2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 公選制の知事及び市町村長のように公知の事実に係るものについては、提出の必要はありません。

様式第6（第7条関係）

~~特定施設（有害物質貯蔵指定施設）~~使用廃止届出書

北海道知事 殿

該当事項以外は
二重線で消してください。

届出日を記入してください。

届出者

〇〇株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

年 月 日

特定施設（~~有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設~~）の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 第一工場	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	石狩市〇〇町〇〇番〇〇号	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	3 1 水産動物原料処理施設	※施 設	廃止した特定施設の種類の政令別表第1（p.12）の番号及び名称を記入。
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※備 考	
使用 廃 止 の 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日		設置場所を図面で示してください。
使 用 廃 止 の 理 由	施設の更新		

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあった施設の使用廃止の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 特定施設の使用廃止に伴い、用排水系統が変更する場合、また、施設の更新により新たに施設を設置する場合は、別途設置届出又は構造等の変更届出が必要となるので、ご注意ください。

様式第7（第8条関係）

承 継 届 出 書

届出日を記入してください。

年 月 日

承継者の氏名、名称、住所を
記入してください。

北海道知事 殿

該当事項以外は
二重線で消してください。

届出者

〇〇観光株式会社
代表取締役 北 海 太 郎
石狩市〇〇町〇〇番〇〇号
(電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）に係る届出者の地位を承継したので、水質汚濁防止法第11条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△観光 第一ホテル	※整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	石狩市〇〇町〇番〇号	※受 理 日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	6 6 の 3 旅館業 イ ちゅう房施設 ハ 入浴施設	※施 設 番 号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※備 考	
承 継 の 年 月 日	〇〇年〇〇月〇〇日		
被承継者	氏名又は名称	株式会社△△観光	
	住 所	石狩市〇〇町〇番〇号	
承 継 の 原 因	合併のため		

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条3項の規定による届出のあった施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※ 事業場の名称の変更に当たっては、別途、氏名等変更届出書の提出が必要です。ご注意ください。